



Photo 1 1.5キロコースがTENAMUビル前を一齐にスタート 2 ゴールを目前に笑顔でハイタッチ 3 給水ポイントで一息 4 まきばの桜並木を走るランナー 5 晴天に恵まれ、霧島連山もくっきり 6 沿道での温かい応援に笑顔のランナー

4年ぶり
3/5 Sun



Photo 1 中央ふれあい広場をスタート 2 2日目のコースで出の山公園を歩く参加者 3 三之宮峡では多くの人が立ち止まって写真撮影 4 真方地区体育館付近の様子 5 温かいおもてなしで笑顔に 6 二原地区を笑顔で歩く参加者

4年ぶり
2/25 Sat
2/26 Sun

第7回 こばやし霧島連山 絶景マラソン大会

幅広い年代のランナー約 830 人が小林のまちを疾走

みやざきツーデーマーチ こばやし霧島連山 絶景ウォーク

市内外から参加の約 1500 人が、市内の名所をウォーキングで満喫!

澄 み渡るような青空のもと、3月5日に「第7回こばやし霧島連山絶景マラソン大会」が開催されました。

コロナ禍の影響で、開催は4年ぶり。当日は、ベテランランナーや仮装を楽しむランナー、親子連れのランナーなど、市内外約830人が参加しました。

大会はTENAMUビル前をスタート、駅南をゴールとする、ハーフマラソン、3キロ、3キロファミリー、1.5キロ、1.5キロファミリー、5キロの6部門で開催。

ハーフマラソンでは、霧島連山を望む堤地区やまきばの桜並木などがコースに盛り込まれ、参加者は風景を楽しみながら小林のまちを駆け抜けました。

大会後は、旅行券や小林市産宮崎牛などの特産品が当たる抽選会が行われたほか、JR小林駅前の中央ふれあい広場ではキッチンカーも出店されるなど、にぎわいました。

ウ ォーキングをしながら市内の名所を巡る「第25回みやざきツーデーマーチこばやし霧島連山絶景ウォーク」が、2月25日・26日、コロナ禍による中止を挟み、4年ぶりに開催されました。

JR小林駅前の中央ふれあい広場をスタート・ゴールに、25日は陰陽石や三之宮峡を巡る30キロ・20キロ・12キロ・6キロのコースを、26日は霧島岑神社や生駒高原、出の山公園を巡る30キロ・22キロ・11キロ・5キロのコースをそれぞれ設定。

当日は天候にも恵まれ、2日間で延べ1500人が風景などを楽しみながら、それぞれのペースでゴールを目指しました。

各地に設けられたチェックポイントでは、ツーデーマーチ恒例の地域住民などによるおもてなしも復活。完熟きんかん「たまたま」やいちご、豚汁などが振る舞われ、参加者は疲れを癒しました。

参加者の声



熊本県から参加した
坂田 吉総 さん、美千子 さん

ハーフマラソンに参加しました。景色が素晴らしく、弁当や振る舞いの豚汁もおいしかったです。沿道でたくさんの方が応援してくれて、温かみを感じる大会でした。また参加したいです。

鹿児島県から参加した
徳重 秀樹 さん



今回初めて参加しました。天気も良く、たくさんの応援もあって、楽しんで走れました。抽選会で当たった1等の旅行券を使って、鹿児島の両親に小林旅行をプレゼントしたいです。

市民・参加者の声

真方地区体育館でのおもてなしに参加した
酒匂 眞佐子 さん (写真は健康推進委員、真方一区の皆さん)



きんかんやお菓子などを振る舞いましたが、どこで売っているのか聞かれることが多く、特産品のPRにもつながったと感じます。参加者との会話が楽しく、遠方の地域も身近に感じられました。

埼玉県から参加した
渡辺 さん、加藤 さん、大野 さん (左から)



コロナ禍の影響で、全国のツーデーマーチで振る舞いがなくなりましたが、小林で受けた久しぶりの振る舞い・おもてなしは素晴らしかったです。コースの中では、特に三之宮峡が綺麗でした。